

病害虫防除対策のポイント No.11

## 新病害「キク茎えそ病」の防除対策

平成19年3月に塩谷町のスプレーギクにおいて、キク茎えそウイルス(CSNV)による新病害「キク茎えそ病」の発生が確認されました。県内での発生状況を調査した結果、市貝町、芳賀町でも発生が確認されました。本病の発生確認は、広島県に続き国内では2例目で、その後千葉県、群馬県においても発生が確認されています。

本病がまん延すると大きな被害になりますので、防除対策を徹底しましょう。

### キク茎えそ病とは？

病徴は品種によって異なりますが、特徴的な症状としては、TSWVによるキクえそ病に酷似した茎えそ、葉の退緑・輪紋・黄化・えそ、また奇形症状が現れます(写真1、2、3、4)。



写真1 茎のえそ症状



写真2 茎のえそ症状



写真3 葉の退緑・輪紋症状



写真4 葉の黄化症状

病徴は、主に栽培株の生育中期以降に明確な症状として現れますが、株によっては生育初期に、また親株でも明確な症状を発現することが確認されています(写真5、6)。